



# 第二ぎんなん便り

社会福祉法人つなぐ育成会  
熊本市第二ぎんなん作業所  
平成28年7月26日発行  
第362号

## 働くということ

夏本番、猛暑の日々が続いています。その猛暑の中、作業所では、利用者、職員ともども、暑さに負けずに、竹木加工、アルミ缶つぶしや古紙回収などのリサイクル、農耕作業、熊本市の文書集配などの作業に精を出しています。



現在の第二ぎんなん作業所は、「就労継続支援B型事業所」というサービス形態で、一般の事業所やA型事業所（※雇用契約を結び最低賃金を支払う就労支援事業所）では少し難しい人たちが対象となります。しかし、働くという点では、一般の事業所やA型事業所と変わりありませんし、長い間の経験で自分の仕事＝作業をきちんと理解している人が多く、その人なりにできる作業にがんばっているなという印象を強く受けます。

### ○働く喜び

私は、学校勤務時代、高等部で作業学習に長く関わって来ました。働く活動を通して、働く習慣や技能、態度、知識等を身につけられるようにするのが作業学習ですが、生徒に一番分かってほしいと願っていたことは、何よりも「働く喜び」でした。

実際、働く活動には、さまざまな段階で多くの喜びが含まれています。

- 1段階 体を動かす、物を作る喜び  
(爽快感、達成感、自信、意欲)
- 2段階 できるようになる、上達する喜び
- 3段階 形になる喜び (達成感、満足感)
- 4段階 製品販売などで人の役に立つ、評価されたり認められる喜び (自信、満足感、意欲)

### ○工賃を得る喜び

作業所では、一般の事業所やA型事業所ほど多くはありませんが、給料(工賃)が支給されます。そこで、さらに、

- 5段階 工賃を得る喜び、お金を使う喜び
  - ・好きなものを買う
  - ・家族へ ※「受ける」立場から「与える」立場へ (自信、自己肯定感、有用感)
  - ・自立した生活 一人暮らし、家庭を持つ

### ○働くことを通して

「働く」ということについて、知的障がいのある人を多数雇用(全社員81人中60人、70%以上)していることで有名な日本理化学工業株式会社(学校等で使用するチョークを作る

会社)の大山会長は、次のように述べています。「人間の究極の幸せは、人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人から必要とされることの4つで、働くことによって愛以外の3つの幸せは得られると言われているが、私はその愛も一生懸命働くことによって得られるものだと思う。」

本当にそうだなと思いながら、利用者として作業に汗を流す毎日です。



## 国際交流会館での竹製品の展示販売

作業所の主要な作業の一つに木竹工があります。現在は、主に竹を使った箸やスプーンなどの日用品やおもちゃを作っています。でき上がった製品はさまざまな方法で販売し、その収益は利用者の皆さんの工賃になっています。



竹工担当の前田です

そんな中で、いつも製品を納めている、一昨年7月1日にオープンした熊本市中央区南坪井、上乃裏通りの「UMU」さんが熊本市国際交流会館(熊本市中央区花畑町)1階のカフェ横で出店することになり、作業所の竹製品も一緒に販売していただくことになりました。

機会があったら、いつも頑張っておもちゃを作っているみんなで見学に出かけたいものです。

作業所以外にもいろいろな製品がありますので、近くを通られた際はぜひお立ち寄りください。



国際交流会館での展示販売の様子



竹製品

※H25年には、「障がい者施設商品コンクール」でグランプリを受賞するなど、高い評価を受けています。



竹製品作りの様子

## 野菜の収穫と会食

作業所では農耕作業で野菜を作って販売していますが、それ以外にみんなで食べられるように、花壇などを利用していろいろな野菜を植えています。

今回は、トマト、オクラ、ししとうが収穫できたので料理して昼食のときにみんなで食べることにしました。

トマトは切ったあと少し凍らせて食感がシャリシャリになるようにし、オクラは白だしと砂糖だけで作ったかんたん漬け物、ししとうはウィンナーと塩コショウで炒めたものを作りました。

利用者からは、どれも「おいしい」と感想を聞くことができ、また、夏にはピッタリのメニューで大成功でした。

ゴーヤやハスイモ、スイカなど、まだこれから収穫予定の野菜があるので、今度はどんな料理をして食べるか楽しみです。



実ったトマトを収穫



トマト、ししとう、オクラ



トマト、ししとう、オクラの料理



みんなで会食

## いよいよ本格的な夏の到来

梅雨が上がり、いよいよ真夏の到来、利用者にも職員にもつらい時期を迎えています。

竹製品作りやアルミ缶つぶしをしている作業場は鉄骨スレート葺きなので、太陽の熱が直接伝わって熱せられて、例えば外気温が33度のときには作業棟内は35度と、外気温よりも高めになっています。農作業、文書集配、リサイクル回収も外での作業。

しかし、このような過酷とも言える環境の中でも、利用者も職員も暑さに負けずに、汗をかきかきみんな元気で作業にがんばっています。



**暑い夏を元気に乗り切るぞー！！**

## 国際ソロプチミスト熊本ーすみれ様からご寄付をいただきました

第二ぎんなん作業所を長年にわたりご支援いただいている国際ソロプチミスト熊本ーすみれ様から、新しい会長様のご挨拶とご寄付をいただきました。

第二ぎんなん作業所の充実と利用者のために、有効に活用させていただきたいと思います。ありがとうございました。

なお、今後は、一人親家庭のご支援などに専念されるため、作業所に対するご支援は今回までとなりました。国際ソロプチミスト熊本ーすみれ様におかれましては、長年にわたるご厚情、ご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後も、社会貢献にご活躍いただきますようお願い申し上げます。



国際ソロプチミスト熊本ーすみれの福田様、高田様、前田様と記念撮影



4ヶ月作業所に勤めて、直接的なご支援、リサイクル品のご提供、受託作業のご依頼、あるいは利用者への通勤時でのさりげないご支援等々、作業所は本当に多くの方々に支えられていると思う毎日です。

日頃から、ご支援・ご協力いただいています皆さま方に心より感謝申し上げます。

梅雨が明け、猛暑の日々が続いています。皆さまにおかれましては、どうぞ、熱中症や体調不良などになりませぬよう、健康にご留意いただきますようお願い申し上げます。

(高橋)